



母屋兼蚕室一階からの出火を想定し、避難・通報・消火の方法を確認。



## 高山社跡防火訓練 2/5

地元住民や消防関係者、市職員などが参加し高山社跡の防火訓練を行いました。火災は発生させないことが第一ですが、もしも起きてしまった時には適切な対応で被害を最小限に抑えることが重要です。解説員による見学者の避難誘導や地元消防団および消防職員による放水訓練、消防職員指導による消火器の操作訓練など、皆真剣に取り組みました。

1月26日の文化財防火デーに合わせて行われたこの訓練。大切な世界遺産を後世に伝えるため、多くの人が万一の対応を確認しました。

福も鬼も呼ぶ「鬼呼び豆まき」。幸運をつかもうと会場を埋め尽くす来場者。



## 鬼と仲良く節分祭 2/4

節分で打ち払われた全国の鬼を福とともに温かく迎え入れる恒例の鬼恋節分祭が鬼石おまつり広場でにぎやかに開催されました。「福は内、鬼は内」の元気な掛け声で鬼呼び豆まきが始まると大人も子どもも歓声を上げながら一斉に手を伸ばし、会場は熱気に包まれました。

鬼に負けると景品がもらえるジャンケン大会も行われ子どもたちが長い列を作りました。「負けた!」と笑顔を見せる子どもたち。そこには、勝っては残念がり負けては喜ぶという和やかな光景がありました。

ユーモアを交え気さくに語りかける立谷市長。



## 教訓を心に刻む 2/15

東日本大震災から6年。福島県相馬市長の立谷秀清さんが300人を超える市民などを前に被災から得た教訓について講演しました。被災直後から陣頭指揮を執る経験に裏付けされた言葉に終始感心する参加者たち。災害に対する心構えを新たに、またとない機会になりました。



専門家の講話に熱心に耳を傾ける参加者たち。

## 職業として農業を選択する 2/12

新規就農を希望する人たちなどを支援する説明会が開催され、参加者たちはガイダンスや専門家への相談などを通じて農業経営のイメージを膨らませました。イチゴ農家への一歩を踏み出す若者は「頑張っって皆に喜ばれる良いものを作りたい」と意気込みを熱く語りました。

市内で出会った人のネタで観客の心を「つかみ」ます。



## 笑いあふれる落語会 2/4

図書館では落語家古今亭志ん八さんの独演会が開かれ、古典落語三席が披露されました。この日、会場には定員100人を超える多くの人が来場。小気味いい語り口と随所にちりばめられたくすぐりに、場内は笑い声と拍手に包まれていました。



児童たちは香ばしいゴマの香りに引き寄せられます。

## 郷土の食文化を学ぶ 2/3

平井小学校では同地区の食生活改善推進員などの指導で、地元の小麦とゴマを使った郷土料理「じり焼き」作りが行われました。児童たちは自分たちで作ったじり焼きを味わい、「もちもちしていておいしい」「家でも作ってみたい」などと話していました。